



ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表
平成29年11月27日

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 萩原 義博

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 小池 誠

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

報道関係者各位

北陸ブロック内雇用情勢報告(平成29年7～9月四半期分)について

北陸ブロック(新潟県、富山県、石川県、福井県)内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告(平成29年7～9月四半期分)について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期ごとの雇用情勢等について全国のブロックごとに公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

※ 公表内容について

- ・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものであり、今回は雇用の質の改善に向けた企業の取組を掲載しました。
- ・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回は高齢者担当窓口の担当者が感じた声を掲載しました。

北陸ブロックの雇用動向

【平成29年7－9月期の雇用情勢判断】
「雇用情勢は、改善している」（判断維持）

	平成29年7－9月期						
	就業地別 有効求人倍率	受接地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人員数 増減率
	【季調値】 （対前期差） （単位:倍、ポイント）	【季調値】 （対前期差） （単位:倍、ポイント）	【季調値】 （対前期比） （単位:%）	【季調値】 （対前期比） （単位:%）	【原数値】 （対前年同期差） （単位:倍、ポイント）	【原数値】 （対前年同期比） （単位:%）	【原数値】 （対前年同期比） （単位:%）
北陸 ブロック	1.78 (0.01)	1.73 (0.01)	0.3	1.2	1.21 (0.19)	2.4	▲6.0
新潟 県	1.55 (0.01)	1.55 (0.01)	1.1	0.2	1.05 (0.16)	1.7	▲5.3
富山 県	2.02 (0.02)	1.85 (0.06)	3.2	2.4	1.37 (0.22)	2.6	▲5.7
石川 県	1.84 (▲0.02)	1.86 (▲0.03)	▲1.4	3.1	1.26 (0.20)	3.2	▲7.0
福井 県	2.13 (0.03)	2.06 (0.00)	▲3.0	0.4	1.46 (0.23)	3.2	▲7.1

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

○7月～9月平均の受理地別有効求人数(季節調整値)は前期比で0.8%増加し、9期連続で前期を上回った、有効求職者(季節調整値)は前期比0.3%増加し、3期ぶりに前期を上回った。

○7月～9月平均の受理地別有効求人倍率(季節調整値)は1.73倍となり、前期を0.01ポイント上回り、9期連続で前期を上回った。

○7月～9月平均の新規求人数(季節調整値)は前期比で0.3%増加し、6期連続で前期を上回った。

○7月～9月平均の新規求人数(原数値)を主な産業を、前年同期と比較してみると、建設業(450人増、11.2%増)、製造業(595人増、9.2%増)、運輸業等(248人増、10.8%増)、卸売業、小売業(157人増、1.7%増)、宿泊業、飲食サービス業(281人増、7.1%増)、医療、福祉(502人増、6.8%増)、サービス業(421人増、9.0%増)となった。

○7月～9月平均の正社員有効求人倍率(原数値)は1.21倍で前年同期より0.19ポイント上昇した。

企業の生の声

雇用の質の改善に向けた企業の取組状況について

○常時雇用する労働者数300人以下

・ハッピー休暇の設定を行い、家族の誕生日など指定する5日間を「メモリアルな日」と位置付け、1日当たり3,000円を支給。誕生日ケーキやプレゼントの購入に充てることを想定している。

(家族からは社長への礼状が届くなど好評。)(製造業)

・トルネード人事制度を導入している。

この人事制度は、冬場に業務が集中する部門の社員を、夏場に数か月単位で他の部門に異動させる。

社員は繋閉に対応するだけでなく、新たな技術を身に付けて所属部署に戻ることになり、同社は、この制度により、多能工化を図り、生産性を向上させている。(製造業)

・「集中タイムカード」として、勤務時間内に業務が終了するよう、集中して取り組む時間を提示することで、電話対応を代わるなど、周りの社員の配慮を促し、作業効率を上げる取組を行っている。(経営コンサルタント業)

・接待係が不足していることから、就業時間と休日の見直しを行うとともに、宿泊者の部屋までの配膳をやめ、食堂(レストラン等)で食事を提供することとした。(宿泊業)

高齢者担当窓口の声

①どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか。

- ・過去の経験や求職条件(希望職種、勤務時間、休日など)にこだわらず、未経験の職種への挑戦など柔軟な対応、考え方ができる求職者。
- ・経験職種に拘らず、労働条件等も柔軟に対応できる求職者。また、就職に結びつきやすいのは、生きがいや健康づくりを求職理由とする者より、収入面を求職理由にする者。

②求職者の重視している要素はどのようなものがあるか。

- ・前職と同程度(大幅にダウンしない)の賃金を得られるか(男性に多い)。
- ・家庭状況などを踏まえて、休日と勤務時間が希望に合うか(年金額に余裕のある方や65歳以上の女性求職者)。
- ・年金の併給が可能であるか、社会保険や雇用保険に加入できるか。

③最近の求職者の特徴的な動きはないか。

- ・働くことにより社会とのつながりを持ちたいと考える求職者が増加し、65歳以上の求職者の相談窓口の利用頻度が、増えているように感じられる。
- ・年金のみでは生計がなりたたない、年金満額支給まではフルタイムで働きたいと考える求職者が多い。
- ・国民年金のみの支給や厚生年金の額が十分ではないため、主に収入を得ることを理由として、70歳を超える求職者が増加してきた。